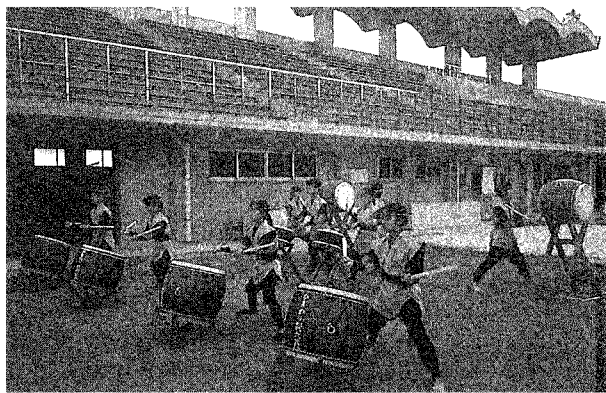


CAMERA REPORT

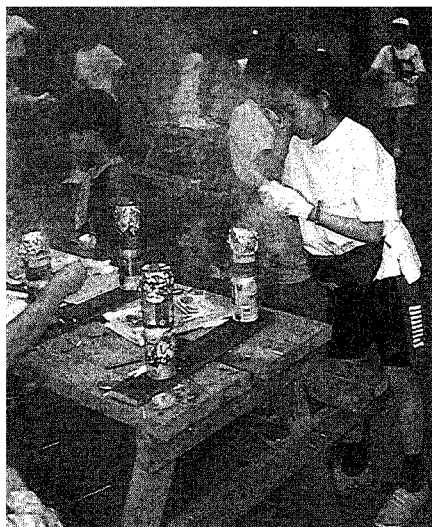


釧路市子どもの船の一行が 都留市を訪れました

名誉市民第1号増田誠画伯が縁で友好都市を提携した北海道釧路市から子どもの船の一行54名が都留市を訪れました。

都留市では、市内の小中学生とともに鹿留川で魚のつかみどりや、バーベキューを楽しみました。

このほか、ハンゴウ炊さんやキャンプファイヤーなど、北海道とまたちがった都留の自然の中で、様々な行事を通して、新しい友だちと出会ったことは、大切な思い出として心に残ることでしょう。



アルミ缶を使ってハンゴウ炊さんに挑戦「ちょっとかたかったけど、とてもいい思い出になった」と釧路の子どもたちは話してくれました。

都留市青少年ふれあいの旅

沖縄県西原町を訪問

都留市青少年ふれあいの旅の一行が交流都市の沖縄県西原町を訪問しました。

今回訪問したのは、市内小・中学生など38名です。

沖縄では、同世代の子どもたちとの交流を通して、沖縄の文化にふれました。

また、一行はひめゆりの塔や平和祈念公園を見学し、戦争のない平和が当たり前のこの世の中、沖縄のいまだに残る戦争のつめあを目の当たりにした子どもたちは、平和のすばらしさを再認識できたことでしょう。



板橋の子どもたちとバレーボールで交流



板橋区下赤塚の小学生バレーボールチームが都留市を訪れ、三吉、田野倉のバレーボールチームと対戦しました。宝小学校の体育館では、子どもたちの元気あふれる声が響きました。

板橋区とは大名行列を下赤塚地域で行ったことをきっかけに、交流が続いています。このバレーボール交流も今回で9回目となりました。